

新しいまちづくりにチャレンジ!

景色を見ながらゆっくり行こう! EVバス



市民の皆さんや観光客が目的に応じて移動手段を選択できる環境を整備していくための新しい交通システムの導入実験として、次世代モビリティであるEVバスの試験運行を沼津駅と沼津港の間で行いました。28日間の実験の結果、約3,000人もの人に乗りまして頂きました。

「EVバスを利用して心が豊かになった」「沼津の観光振興やまちのブランド向上につながる良い企画、また乗りたい」などの好意的な意見が多く、本格運行への要望も頂いたことから、民間事業者による運行が始まります。

今後も、自動運転の実証実験を行うなど、引き続き、公共交通のあり方を検証していきます。

みんなで道路を楽しむ アルコミチ



アルコミチは、ヒト中心のまちなみを可視化し、市民の皆さんに体感してもらうため、道路を数日間車両通行止めにした社会実験です。歩行者に解放された道路上に椅子や芝生シートを設置し、沿道店舗等の出店やイベントを開催することなどにより、車中心に整備された道路が快適で楽しいヒト中心の空間に変えました。

平日昼間の芝生広場では、赤ちゃん連れのママ友会が開催されていたり、近くで働く事業者が仕事の打ち合わせをしていたりと、いろいろな使われ方がみられました。今後もヒト中心の「居心地が良く、歩きたくなるまちまか」を目指し、取り組みを進めていきます。



ヒト中心のまちにむけて
市では、ヒト中心の「居心地が良く、歩きたくなるまちまか」を目指しています。歩きたくなるまちまかにすることで、人が集まり、様々な出会いや交流が生まれ、また、新たなまちの活用方法が生まれたり、ヒト中心の豊かな生活につながります。
ヒト中心の公共空間を創出するためには、本市の拠点となる沼津駅周辺の公共空間を車中心の空間からヒト中心の空間に再編すること、歩行者・自転車・公共交通・自動車等の交通体系を再編することが必要です。
人のことを考える
ヒト中心の空間への再編とは、ただ歩行空間を増やすのではなく、歩く人のことを考えたまちづくりを意味します。

沼津における ヒト中心の空間

ヒト中心のまちをつくるには、交通体系の再編も欠かせません。単に自動車を抑制するのではなく、人が市内をスムーズに移動できるよう公共交通網の整備を行うと同時に、自動車のための幹線道路などを整備し、誰もが安全で快適に移動できる空間づくりを進めていくことが重要です。こうした交通体系の再編に向けた取り組みとして、多くの人が集まる沼津港と交通の拠点である沼津駅の間で、次世代モビリティであるEVバスの試験運行を行いました。風を感じながらまちまかを楽しく移動できることから大変好評を得て、新たな移動手段としての可能性が期待できる結果となりました。

交通体系も考える

これからの市民の皆さんの意見を伺いながら、ヒト中心のまちに向けた取り組みを重ねていくことで、皆が心地良く暮らせるまちにつなげていきます。

募集

沼津市中心市街地まちづくり戦略(案)の パブリックコメント募集

まちづくりについて皆さんからの意見を募集します。
募集期間 12月16日(月)～令和2年1月15日(水)
※計画(案)や意見送付方法等の詳細は、市役所5階まちづくり政策課、2階生活安心課、各市民窓口事務所、市立図書館、市ホームページでご覧頂けます。

お知らせ

中心市街地まちづくり戦略シンポジウム開催

沼津駅周辺総合整備事業とともに進める駅周辺のまちづくりについて、市民の皆さんと考えるシンポジウムを開催します。多くの人のご参加をお待ちしています。
とき 12月23日(月)、17時30分～20時
ところ プラサヴェルデコンベンションホールB
定員 200人程度



一つひとつの「まちづくり」が花を咲かせようとしている現在が沼津のまちをヒト中心の質の高いまちにしていくチャンスです。
まちづくりの主役は市民の皆さんに他なりません。だからこそこの機会に、皆さんと一緒に沼津のまちを、もっと誇れる、もっと魅力あるまちとしていきましょう!

誇れる、魅力あるまちへ

現在本市では、沼津駅周辺総合整備事業などにより、都市の骨格を形成する都市基盤が整備されるとともに、居心地の良い歩行空間の創出に向けた実証実験、移動しやすい公共交通網の整備、空き店舗や使われなくなった公共施設のリノベーションなど、新たな取り組みが展開され、今後のまちづくりに大きな期待が寄せられています。
まちを歩けば、暮らしを楽しくするコンテンツが溢れていて、新しい発見や刺激がある。誰もが積極的にまちを楽しみ、愛着を持ってまわりと関わり、まちに自分の居場所を作り出す、そんなまちって素敵じゃないですか。